

気象庁・高度利用者向け緊急地震速報対応

## 緊急地震速報専用端末の決定版！

一般家庭用から産業用まで幅広い用途に対応する緊急地震速報専用端末

# 緊急地震速報専用端末

TAKUSU EARTHQUAKE INFORMATION SYSTEM

「高度利用者向け」

- ◆ 簡単接続で安定長期稼動が保証された製品構成 Takusu-V III
- ◆ 緊急地震速報だけでなく各種セルフセキュリティ機能を装備しました。
- ◆ センターサーバー方式の採用でシステムメンテナンスが充実しています。
- ◆ 接続・設定が簡単、つなぐだけの実現。
- ◆ 親機一台で子機台数制限ありません。「学校・事務所・工場」使用可能。
- ◆ 親機～子機間は、市街地で1kmの通信実績を持つ総務省認定(特定小電力セキュリティ無線)「部屋の模様替えの心配がありません。」
- ◆ IPネットワーク経由で最新のファームウェアへ自動更新。
- ◆ ファンレス、ディスクレスのハードウェアによる機器構成のために長期連続稼動実現
- ◆ 緊急コール・セキュリティ・火災警報・窓センサー・パッシブセンサーなど各種セキュリティ機器とはすべて配線不要の無線対応多機能を採用しています。「本体以外はオプション仕様となります。」
- ◇ 気象庁はデータ加工や他システムとの融合性が高いML方式の採用が発表されました。移行されてもTakusuは端末の更新なく現状のままご利用いただけます。「システム更新はセンターで一括更新します端末更新不要です」

※(社)電子情報技術産業協会(JEITA)「緊急地震速報利用端末装置の基準に関するガイドライン」準拠端末機です。

### 緊急地震速報専用端末 Takusu-V III仕様

緊急地震速報サーバーとの接続	受信方式	IPv4インターネット常時接続環境でのUDP/IP-SOCK方式
	接続回線	FTTH・FTTR(光)ADSL(接続できない場合があります)
	接続端子	RJ-45 10Base-T(Ethernet)
本体下部	設定ダイヤル	音量可変ボリューム・ID設定機能等
警報出力		音声ガイダンススピーカ出力(最大出力約0.5w)
無線送受信	受信方式・無線周波数	ダブルコンバージョン方式・特定小電力426MHz帯
	符号受信感度	-112dBm以下(BER=1%)(0°C+50°C)
外形寸法・重量		幅180mmX奥行き42mmX高さ125mm・約400g
通信接続環境		UPnP・DDNS機能対応のルータ(旧機種未対応有り)
その他オプション対応		緊急コール鉤
気象庁製造端末演算方式許可		気象庁長官許可 第97号
		総務省認定「特定小電力無線」

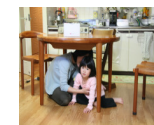
ご注意  
Takusu-V IIIご利用いただくにはインターネット回線が必要です。各種(CATV/ADSL/FTTR(光))インターネットブロードバンド回線の準備をお願いいたします。尚ルータはUPnP対応機種をお選び下さい。商品と同梱の緊急地震速報利用申込書の必要事項ご記入の上郵送下さい。センターより試験信号を送信する連絡をさせていただきます。その上で通信確認テストが実施され運用開始されます。

■ 総販売代理 **カメイ株式会社** <http://www.kamei.co.jp>  
〒980-8583 仙台市青葉区国分町3丁目1-18  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目18-19 虎ノ門マリビル7F  
東京支店 法人部 環境システム課  
TEL: 03-6450-1336 FAX: 03-5404-3786

企画・開発・設計 **Takusu 株式会社** <http://www.takusu.co.jp>  
本社 / 〒530-0001 大阪市北区梅田3丁目4番5号  
TEL: 06-6342-9500 FAX: 06-6343-3020



### 気象庁ガイドライン準拠製品



Takusu-V III

### Takusu-V III は長期使用に耐える設計。

緊急地震速報端末は、いつ来るかわからない地震情報を受信するために常時マンパワーで待機状態を続けなくてはなりません。そのためには、自然体で動作確認ができイザというときに確実に動作しなくてはなりません。10年以上ノーメンテナンスで動作保障され、安定した運用に耐える製品構成・システムでなくてはなりません。その仕様を実現したのが「Takusu-V III」です。

### 使う場所を選ばない無線対応「配線工事不要」

一般家庭の1階から2階、大規模の工場、学校の職員室と各教室、ナースステーションと病室大型ビル各階、既築マンション等、幅広くご使用いただいております。「Takusu-V III」は使う場所を選びません。

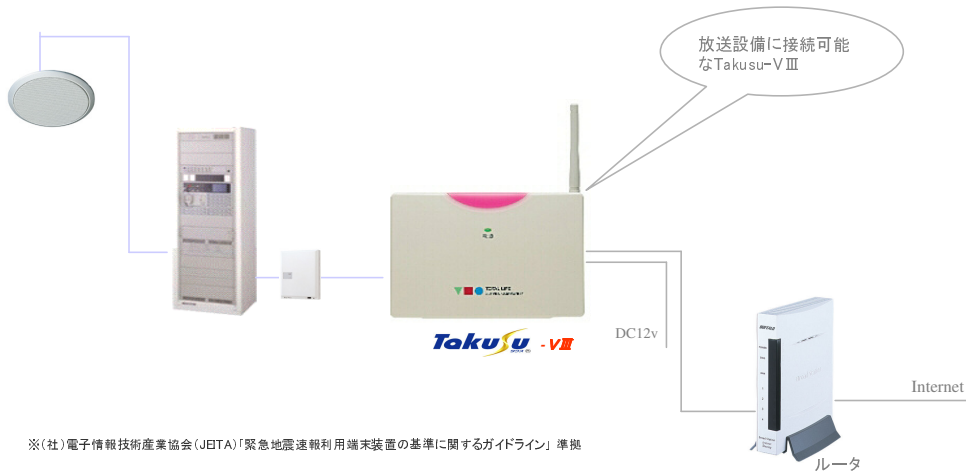


“揺れる前に知ることによって危険は確実に減らせます。”

もし10秒という時間があれば……………。

地震波には伝播速度の速い「P波(初期微動)」と、伝播速度は遅いが大きな揺れを起こす「S波(主要動)」があります。地震波の伝わる速度は地盤により異なりますが、S波で秒速約4km、P波でも秒速約6km程度です。緊急地震速報は、震源の近くの地震計で観測されたP波から地震の規模や位置を即座に推定し、主要動が到達する前にお知らせする情報です。この情報を利用することにより、地震が発生した場合に、大きな揺れが到着する前に防災対策を実行することが可能となりますが、直下型直近での地震には効果が小さい場合もあります。

お部屋のインテリアを重要視したセブなデザイン。  
私達は、地震だけにとらわれていません多機能システムを提供します。



※(社)電子情報技術産業協会(JEITA)「緊急地震速報利用端末装置の基準に関するガイドライン」準拠

## 気象庁 緊急地震速報(予報)の音声ガイダンス

### ● 配信条件

本装置は、当該通報先の演算推定震度が**4以上の場合**に緊急地震速報を発報するように設定しています「震度階は、お客様のご要望による設定可能」

○音声ガイダンスによる緊急地震速報配信 **「なったら逃げる緊急地震速報」**

#### 緊急地震速報端末 音声ガイダンス

地震の揺れ開始までの時間

・ **0～10秒** : **電子音 + すぐに地震がきます(揺れが来るまでの間繰り返す)**

・ **11～30秒** : **電子音 + まもなく地震がきます(3回繰り返す)**

10秒前となった時点で、「～10秒」のガイダンスに切り替わります。

・ **31秒～** : **電子音 + 地震が発生しました(3回繰り返す)**

30秒前となった時点で、「11～30秒」のガイダンスに切り替わります。

### ● 機器の通信確認

現在 毎日指定時間に**ビッピッピ**と時報の信号をセンターより送信しています。  
(機器の通信確認等にご利用ください。「鳴ればセンター・回線・機器異常ありません」特許申請中)

注意事項 ○ 緊急地震速報の配信が主要動の到達に間に合わない場合があります。

○ 各地の震度の推定精度が十分でない場合があります。

○ 誤報が発信される可能性があります。

1: [まもなく、すぐに]は社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)の緊急地震速報ガイドラインによります。

2: 「電子音」は日本放送協会との使用承諾契約により、同協会提唱の報知音を用いています。

3: 予測震度5弱以上(警報)の場合は「大地震」となります。

### 緊急地震速報の予報と警報

気象庁が発表する緊急地震速報		震度	国及への伝達	民間提供の提供する予報
警報、予報の内容				
警報	緊急地震速報(警報)	7	テレビ・ラジオ・携帯の放送等	緊急地震速報【予報】 家族や主婦など、個別地点毎の予報等
	警報基準以上の震度が予測される場合	6強		
	発表イメージ別 地震発生時刻 2007/06/13 09:42:04 北緯 35.32度、東経 137.411度 深さ 50.2Km 地震の規模(M)6.9	6弱		
	強い揺れに警戒〇〇県〇〇県	5強		
	警報と予報の間値となる予測震度は、大雨後の地盤の緩みなど地震動被害の出やすさを考慮して、適宜、変更	5弱		
予報	緊急地震速報(予報)	4	テレビ・ラジオ・携帯の放送はない	弊社の提供
	警報基準未満の震度が予測される場合	3		
	発表イメージ別 2007/06/13 09:42:04 地震発生時刻 北緯 35.32度、東経 137.411度 深さ 30.2Km、地震の規模(M)4.9 〇〇県 予測震度4程度 09:42:12頃 〇〇県 予測震度3程度 09:42:15頃 〇〇県 予測震度2程度 09:42:17頃 〇〇県 予測震度1程度 09:42:19頃	2		
		1		
		0		

弊社は気象庁長官の許可を得て予報業務が許可された企業です。予報業務情報の提供及び通報する端末機器の販売を許可された企業です。